

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：
 病院施設番号：

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精神・神経科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行う診療 科			
							産科	婦人科		脳神経外科	整形外科	形成外科	眼科			
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	7,989	327 (14,122)	3,659	25	1,439	3,311 (800)	()	()	202				496	2,164	495	1,967
年間新外来患者数	6,104	4,673	1,517	173	1,867	2,894			916				740	3,738	1,054	3,066
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	1,065.0 (271)	25.9 (271)	192.3 (271)	67.4 (271)	83.4 (271)	237.7 (271)	()	()	145.8 (271)	()	()	()	41.2 (271)	208.4 (271)	45.8 (271)	202.0 (271)
平均在院日数	12.0	14.6	12.9	1.8	9.6	6.8			21.6				17.4	13.2	7.8	3.8
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導 医)数)	156 (58*)	20 (6)	80 (21*)	37 (11*)	42 (20 *)	56 (17)	()	()	31 (9)	()	()	()	18 (8)	48 (12)	14 (7)	30 (6)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器

外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している大学病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：慶應義塾大学病院

病院施設番号：030214

区 分	その他の研修を行う診療科														合 計	
	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	放射線科	リハビリテーション科	病理診断科	臨床検査科	臨床感染症センター	漢方医学センター	総合診療科	透析センター	血液浄化・透析センター	緩和ケアセンター	集中治療センター		その他
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	399	1,726	672	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,927
年間新外来患者数	1,559	898	1,747	757	102	0	0	487	69	156	0	3	0	7,972	40,492.0	
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	164.3 (271)	152.4 (271)	117.9 (271)	61.5 (271)	22.2 (271)	0 (271)	0 (271)	46.7 (271)	26.1 (271)	19.9 (271)	4.1 (271)	4.0 (271)	0 (271)	287.4 (271)		
平均在院日数	12.9	7.4	12.5	0	21.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	26 (9)	21 (9)	19 (4)	48 (22*)	12 (3)	6 (3)	7 (6*)	5 (4*)	1 (1)	3 (3*)	4 (2)	2 (2)	0 (2*)	53 (1*)	739 (241**)	

* 他診療科所属で当該診療科を担当分野とする臨床研修指導医を含む。

** 担当分野を兼務する臨床研修指導医は延べ人数ではなく実人数で集計している。

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)		臨床研修病院の名称：												
		病院施設番号：												
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
慶應義塾大学病院	内科（総合診療科）	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	
慶應義塾大学病院	救急部門	6	6	4	4	5	3	6	5	6	5	3	5	
慶應義塾大学病院	外科				2	1	3	3	1	2	2	1	3	
慶應義塾大学病院	麻酔科	2	3	2	2	5	4	1	3	2	2	4	3	
慶應義塾大学病院	小児科	2	2	3	5				1	1	3	3	3	
慶應義塾大学病院	産婦人科	3	2	3	1		3	5	2	1	2	2		
慶應義塾大学病院	精神・神経科	1	1	2	1	3	1		1	2	1	2	1	
東京大学医学部附属病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
東京大学医学部附属病院	救急部門					1	1	1	1					
東京大学医学部附属病院	外科		1		1						1		1	
東京大学医学部附属病院	麻酔科					1					1			
埼玉医科大学病院	選択科			1	1	1								
国立病院機構埼玉病院	内科		2	1	1	2	4	4	3	3	1	2		
公益財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院	外科					1								
国家公務員共済組合連合会 立川病院	救急部門				1			1	1	1				
医療法人財団 荻窪病院	内科												1	

調整期間（4週）

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和7年度分)								臨床研修病院の名称：						
								病院施設番号：						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
慶應義塾大学病院	内科（総合診療科）	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	
慶應義塾大学病院	救急部門	6	6	4	4	5	3	6	5	6	5	3	5	
慶應義塾大学病院	外科				2	1	3	3	1	2	2	1	3	
慶應義塾大学病院	麻酔科	2	3	2	2	5	4	1	3	2	2	4	3	
慶應義塾大学病院	小児科	2	2	3	5				1	1	3	3	3	
慶應義塾大学病院	産婦人科	3	2	3	1		3	5	2	1	2	2		
慶應義塾大学病院	精神・神経科	1	1	2	1	3	1		1	2	1	2	1	
東京大学医学部附属病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
東京大学医学部附属病院	救急部門					1	1	1	1					
東京大学医学部附属病院	外科		1		1						1		1	
東京大学医学部附属病院	麻酔科					1					1			
埼玉医科大学病院	選択科			1	1	1								
国立病院機構埼玉病院	内科		2	1	1	2	4	4	3	3	1	2		
公益財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院	外科					1								
国家公務員共済組合連合会 立川病院	救急部門				1			1	1	1				
医療法人財団 荻窪病院	内科												1	

調整期間（4週）

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。